

# 平成22年度 第1回 仙北市立病院等改革推進計画 検証市民・専門委員会



平成21年3月に市が策定した「仙北市立病院等改革推進計画」の取り組み状況について検証する市民委員会と専門委員会の今年度1回目の会議が開催されました。

委員会は、健康等に関する活動を行っている団体や地域医療に対する関心を持つ市民の方々から構成される「市民委員会」と、市内の開業医や診療所医師等、地域医療に関する有識者から構成される「専門委員会」からなり、同計画の進捗状況や決算状況について検証していただき、様々な視点から貴重なご意見等をいただいております。主なご意見等は次のとおりです。

市では、これらの検証内容を踏まえ、更なる病院経営改革に取り組みます。

## 仙北市立病院等改革推進計画

### 「検証市民委員会」

- ◆日時 平成22年7月9日(金) 14:00～15:20
- ◆場所 田沢湖健康増進センター地域交流プラザ
- ◆出席者 委員長の他5名 計6名

【市】市長・総務部長・総務部政策推進課・両病院事務長等

#### ◆検証事項

- 1 病院事業の決算状況について
- 2 仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について

**委員**・医療費の未収金はあるか。その対策はとられているか。連帯保証人との関係は。

るのか。田沢湖病院の救急再開の考え方は。

**市**・未収金は両病院共にある。督促や直接訪問を実施しているほか、未収金対策委員会を設置し滞納者の家庭状況の把握に取り組んでいる。これまでに連帯保証人をお願いするケースはあっても実際に徴収した例はない。

**市**・医師募集は継続中。救急再開は常勤医師が増えないと厳しい。まず病院として継続させることが重要である。救急再開をあきらめている訳ではなく、再開に向けて最大努力をしている。

**委員**・医師の負担軽減の考え方について

**委員**・田沢湖病院に小児科は置かないのか。

**市**・常勤医師が少ない状況にあり過重労働を強いる訳にはいかない。新たな医師の確保も大切だが、在職中の医師定着も考えなければならぬ。

**市**・医師で一番不足しているのが小児科医と産婦人科医であり、現在の状況では確保は厳しい。

**委員**・病院内の安全面を考慮してガードマン的な役割をもつた人を配置すべきではないか。

**委員**・田沢湖病院の救急再開を急いでほしい。人工透析をやる際に秋田市まで行かなくてはならない現状を解消できないか。医師確保について、今女医さんが増えており女医さんを招へいするためにソフ

**市**・今後検討していく。

ト面のサポートを考える意味で院内保育所を設置してはど

**委員**・医師募集は継続してい

うか。



**市**・角館総合病院で人工透析出来るのは1日22～23人であり、現状では医師の関係でそこが限度である。全く断っているということではない。院内保育所については、仙北市保育園の保育士さえも確保できていない。看護師も足りなければ保育士も足りないという状況である。

**委員**・病院は待っても当たり前だという考えから脱却して、待たせているのを忘れさせるような工夫があればサービスにおいて幾らか緩和されるのではないか。

**市**・角館総合病院も新築を避けては通れない状況なので、院内保育所の話も含め、いずれ新築計画の中で検討していく。



# 病院を考える 医療を考える

## 更なる病院経営改革への取り組み

### 仙北市立病院等改革推進計画

#### 「検証専門委員会」

◆日時 平成22年8月4日(水) 17:00～18:30

◆場所 仙北市総合情報センター2F会議室

◆出席者 委員長の他4名 計5名

【市】市長・総務部長・総務部政策推進課・両病院事務長等

#### ◆検証事項

- 1 病院事業の決算状況について
- 2 仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について

**委員**・田沢湖病院の収支が1億円あまり改善され驚いている。障害者病棟により病床利用率が大幅に上がったことによると思う。ただし、何か条件が変わり悪条件が加わると、一気に収支が悪化する可能性もあるので、今後十分に注意されたい。

**市**・新たな組織として仙北市医療局を設置し、医療環境や職場環境の整備充実をサポートしながら、医療経営、医師・看護師等の医療従事者確保、角館総合病院改築事業を担い、今年度中の組織化を目標としている。いずれは、医師確保対策やスタッフの人事交流などを総括的に実施するセクションとし、事業管理者を設置したい。病院事業を管理する最高責任者であり、医師と一緒に医療を推進していく。

**委員**・角館総合病院は改築なのかそれとも別の場所に新築なの

か。また、県は角館総合病院の位置とか改築に関してどのような考えているか。

**市**・市としては移転新築という考え方である。県では角館総合病院を非常に重要な位置付けと認識している。時期としては仙北組合病院の改築に遅くなく新築していく必要がある。予定では平成28年度としているが、前倒しで実現することが適切なあり方ではないかと思っている。

**委員**・仙北組合病院が先に出れば地域の医療は変わっていく。それが角館総合病院の経営にも影響を及ぼすことになる。逆に特色を出し、早めに手を打たないと患者さんが流れる可能性も出てくる。

**委員**・今の状況で田沢湖病院の救急実施は不可能に近い。少なくとも今の倍の医師がいないと厳しく、来てくれる見込みは全く見通しがたない状況だと思

う。医師不足等については、病院と行政と医師会なりが共同で住民に説明する会も必要かと思う。お金を積みよほどの意見もあるが、現実にはお金積んでも医師は来ないので、そこを理解していただく必要がある。



**委員**・医師確保は非常に難しい問題である。地方の医療の現状、医療崩壊、医師不足という現実をもう少し上手く広報していかなければならない。累積赤字の13億がどこから出ているのかとか、市の財政に対してどれだけ圧迫をしているのかということも、住民の方々に理解してもらわないといけない。

**市**・もう感情論で病院を語ることは出来なくてシビアに見なければいけないが、住民の要望がそのままかたちになるといことはなかなか難しい。

**委員**・何でも角館総合病院でやってほしい、何でも田沢湖病院でやってほしいとの意見が住民から出てくるのでは何ともならない。そこを理解していかないといけないので、こちら側からもっと発信しないとダメである。

**委員**・仙北市医療局の職員は、市立病院と密接な関係でなければダメだと思う。俺の病院は俺の病院だとやっていたので今と何も変わらない。

**委員**・医師の診療体制を全市の規模でやればいいのかではないかと思う。病院の先生方の意識も変えていただかないといけない。